

寮歌「緑の森」

作詞 井上吉之  
作曲 藤井清水

一、 緑の森の自治の丘 自治の燈のあかくして  
角笛高く口誦せば 棘の道に彷徨へる  
羊の群は従へり 若き笛子に微笑あり

二、 若き身なるを若き日の 誇を共に歌はばや  
四年の丘の我春は 永久の生命の糧なるを  
夢にしありと言はば言へ 歌声つきず自治の城

三、 四寮の窓に吹きならす 笛の高音のひとすぢに  
ひびく心は憧憬の 自治の女神の養ひし  
高き理想の森影に 十年の春を迎へけり

四、 同じ運命をこの森に 君とし我は見出しぬ  
君よ朗らに歌へかし 琴弾く技は知らねども  
胸の血潮を汲み交し 自治燈の下に酔はんかな

五、 夜は寂寞の森なれば 六連の光かすかにて  
かたみに理想語り合ふ 若き愁ひを知るや君  
たかき使命と希望とに あゝ胸の血のたぎるなり

六、 胸の血たぎるこの宵は 十年の記念祭宴筵  
盃あげてさらば君 久遠の緑変りなく  
東亜に光るこの森を 混濁の世に誇らなん